

日々、自分らしく生きていく。つづけていこう、希望の道を。

認知症とともに歩いていこう。

本人と周囲の人々の日常が動画に『希望の道—認知症とともに生きる—』

たとえば、社会貢献を目指して地域とより深くつながる人、人生を見つめ直して新たな楽しみを見つけた人。

認知症と診断を受けた後も、自分らしく人生を謳歌している人がたくさんいます。

希望に満ちた本人の思い、そして家族をはじめとする周囲のサポートの様子を動画でご紹介します。



楽しくないと楽しくならない。

北海道 福田貞夫さん



自分から外に出て、人と話をするっていうのは楽しい。

山形県 及川昌秀さん



やっていることがちょっとでも役立つっていうことは、幸せ。(塩路さん)
自分でつくったもん、食べてもらったらありがたい。(山際さん)

和歌山県 塩路 京さん、山際裕三さん



認知症になっても仕事と趣味で充実している。

京都府 下坂 厚さん



看護師の経験を活かして、みんなにお返しができる。

鳥取県 松本とよ子さん



自然に「ありがとう」という気持ちで、頼れればいい。

大分県 寺野清美さん



認知症じゃなかったら
仲間に会えなかった。

茨城県 平 みきさん



皆さんがいるってことは人がいる。
自分はひとりじゃない。

東京都 樋口 賢さん



好きなことをやって生きる。
こんなに幸せなことはない。

神奈川県 望月省吾さん



自分らしくいれる場所で楽しく過ごせて私は幸せ。

静岡県 森 累美子さん



支えてもらうばかりではなくて、支え合っていきたい。

愛知県 近藤葉子さん



もうちょっとがんばって仕事しようかなと思っています。

岐阜県 林田光市さん



人の役に立てる。ここに来てよかった。

鹿児島県 川原多喜子さん



周りの人がどれほど大事がわかってきただけでも、成長したかな。

香川県 志度谷利幸さん

詳しくは厚生労働省認知症本人大使「希望大使」へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/kibou.html#movie

※本動画は令和2年度・令和3年度厚生労働省「認知症普及啓発事業」の一環として、希望大使や認知症の人と家族の会の皆様に参画いただき、作成されました。

動画は
こちらから



「希望の道 ―認知症とともに生きる―」動画出演者

令和2年度



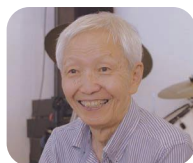
福田貞夫さん(北海道)

北海道札幌市の福田貞夫さんはくも膜下出血の克服後に認知症と診断され、グループホームへ入居。現在は自宅地域生活を楽しんでいます。リーダーシップを発揮し、施設や地域の頼れる存在です。



及川昌秀さん(山形県)

山形県米沢市の及川昌秀さんは、若年性アルツハイマー型認知症の診断後も仕事を続けています。認知症カフェ「おれんじドア山形」をオープン。認知症本人の交流の場で情報を発信しています。



望月省吾さん(神奈川県)

長く医薬品メーカーに勤めた神奈川県藤沢市の望月省吾さん。趣味は大学で夢中になったマンドリン演奏。ワイナリーでの経験を活かし、自らも参加する認知症当事者の会ではワイン講座を開催しています。



森 累美子さん(静岡県)

元看護師の森累美子さんは認知症の診断後、静岡県富士宮市で木製介護用品を作る「木工房いづでもゆめ」で働いています。夫の理解と自分らしくいられる場や人と出会い、毎日を楽しんでいます。



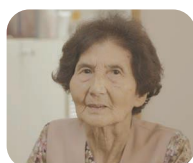
下坂 厚さん(京都府)

大手鮮魚店で働いていた下坂厚さんが若年性アルツハイマー型認知症と診断されたのは46歳のとき。現在は高齢者を支える仕事と写真撮影に生きがいを見だし、当事者目線の情報を発信します。



松本とよ子さん(鳥取県)

鳥取県鳥取市の松本とよ子さんは認知症の診断後も看護師経験を活かし、認知症の本人の話を傾けています。本人の視点を大切だと考え、認知症の見方を変えることを第2の仕事にしています。



川原多喜子さん(鹿児島県)

鹿児島県で認知症の診断後も人々に支えられながら一人暮らしを続けている川原多喜子さん。小規模多機能サービスでメール便の配達をするなど、地域の中での自分の役割を見つけて暮らしています。

令和3年度



平 みきさん(茨城県)

茨城県石岡市の平みきさんは52歳でレビー小体型認知症に。励ましを受けながら仲間を作り、2017年にNPO法人「ともに歩む認知症の会 茨城」を立ち上げ、メッセージを発信しています。



樋口 賢さん(東京都)

空港の保安防災業務に従事していた東京都大田区の樋口賢さんは、54歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断。現在は講演活動やデイサービスへ通い、周囲にとって欠かせない存在です。



近藤葉子さん(愛知県)

51歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された愛知県名古屋市の近藤葉子さん。デイサービスに通いながら、認知症理解のための活動にかかわっています。社会とのつながりを感じる日々です。



林田光市さん(岐阜県)

岐阜県瑞穂市の林田光市さんは56歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断され、就労が難しくなりました。就労支援モデル事業で勤務を続け、養成講座の講師をするなど充実した毎日を送っています。



塩路 京さん、山際裕三さん(和歌山県)

和歌山県御坊市の認知症希望大使「あがらの総活躍希望大使」の塩路京さんと山際裕三さん。農業協同組合に勤めた塩路さんは筆耕を続けています。山際さんは趣味のほか、農作物を育てています。



志度谷利幸さん(香川県)

63歳のとき、若年性アルツハイマー型認知症と診断された香川県綾川町の志度谷利幸さん。仕事は減らさざるを得ませんでした。認知症だと周囲に伝え、サークル活動「育育広場」に励んでいます。



寺野清美さん(大分県)

大分県日田市の寺野清美さんは63歳のとき若年性アルツハイマー型認知症に。家事や仕事を諦めましたが、友人の紹介で働きはじめました。周囲に支えられ、生きがいを感じる日々を送っています。

「認知症とともに生きる希望宣言」

〈一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ〉

1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。

2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。

3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわきたせ、元気に暮らしていきます。

4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。

5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

認知症普及啓発事業

厚生労働省 www.mhlw.go.jp 一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ www.jdwg.org

公益社団法人 認知症の人と家族の会 <https://www.alzheimer.or.jp/> 認知症当事者とともにつくるウェブメディア なかまある nakamaaru.asahi.com